



養護教諭の働き方を考える

浜中町立茶内小学校長 富田直樹

依然として、全国の学校において「教員の多忙化が解消がされていない」という報道を目にしたか耳にしたかします。前号でも触れましたが、2021年度の全国の公立小学校の教員採用試験の競争倍率が過去最低になるなど、今後、「教員不足」に一層の拍車がかかることが予想されます。公立小学校の35人学級の導入や専科教員の配置、中学校における部活動の地域移行、教員免許状更新制度の廃止などは、教員の多忙化の解消に向けた取組と言えらると思います。

ところで、保護者や地域の皆さんは、「教員の多忙化」と言ったとき、どんな「教員」を想像されるでしょうか。例えば、小学校なら〇年〇組の学級担任の教員、中学校や高等学校なら外国語や数学などの各教科の教員ではないでしょうか。校長はあまりいらっしやらないと思いますが、教頭を思い浮かべる方もいらっしやらないと思います。しかし、養護教諭（保健室の教員）を思い浮かべる方はあまりいらっしやらないのではないのでしょうか。

私自身はどうかというと、中学校教員として養護教諭と一緒に働いたり、教育行政の立場で多くの学校を訪問したりしていましたが、養護教諭の業務について、よく理解できていない者の一人でした。

しかし、2年前に新型コロナウイルス感染予防の取組に関わって、学校環境衛生の状況を把握するよう学校教育局から指示があり、オホーツク管内の小・中学校を訪問し、養護教諭の皆さんから話を聞いて驚きました。新たに加わった新型コロナウイルス感染症対応の話に入る前に、従来の業務の話だけで1時間以上を要しました。

学校教育法等を確認してみると、養護教諭の職務は、左記のように盛りだくさんです。保健室内外にわたり、養護教諭にこんなたくさんの職務があるとは、恥ずかしながら知りませんでした。

近年、子どもの心のケアや感染症対策に関わる期待が高まっています。このことから、養護教諭の業務も増えてきて多忙化が進んでいることが予想されます。

実際に、本校に着任し、安住養護教諭の仕事ぶりを目の当たりにして驚くことばかりです。コロナ対応の先頭に立ち、消毒や換気などの学校環境の整備はもとより、全ての子どもたちの毎日の健康状況の把握、休み時間等における丁寧な健康相談対応など、実に多種・多様です。

「養護教諭が働きやすい環境を整備する」、これは全国の管理職が意識し、解決すべき喫緊の課題の一つだと思います。

養護教諭の職務 児童生徒の養護をつかさどる 学校教育法第28条

養護教諭の職務内容

- 1 学校保健情報の把握に関する事
- 2 保健指導・保健学習に関する事
- 3 救急処置及び救急体制に関する事
- 4 健康相談活動に関する事
- 5 健康診断・健康相談に関する事
- 6 学校環境衛生に関する事
- 7 学校保健に関する各種計画・活動及びそれらの運営への参画等に関する事
- 8 伝染病の予防に関する事
- 9 保健室の運営に関する事

保健体育審議会答申

